

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 150 ※記入不要	提案機関名 西湘地区行政センター農政部
要望問題 ビワの低樹高仕立てについて	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 <背景> 西湘地区においてビワは生産量こそ多くないが、価格面において有利な果樹である。生産量が増えない原因としては、生産者の高齢化が進み、樹高が高くなる現在の仕立て方では収穫労力が確保できないからである。 <内容> 仕立て方の工夫によるビワの低樹高化による収穫労力の削減。 <対象地域> 管内全域	
解決希望年限	①1年以内 <u>②2～3年以内</u> ③4～5年以内 ④5～10年以内
研究対応区分	<u>①研究所対応</u> ②委託研究 ③共同研究 ④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ <u>②根府川試験場</u> ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	根府川試験場
対応区分	① <u>実施</u> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 地域に即した高収益な作物の検索及び栽培技術の確立	
対応の内容等 年間を通した多種多様な果実を求められており、カンキツ類においても周年供給体制を整えるため、中晩生カンキツの導入を進めているところです。さらに県西部において導入可能な作目の検索が求められていることも充分認識しています。今後も傾斜地が多い等の立地条件を考慮しながら広く有望作物の検索をはかっていきたいと考えています。ビワについては直売の一品目として有望と思われますので、低樹高化を含め、検討していきたいと考えます。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④ <u>5～10年以内</u>
備考	